

どうでしょうか

やっぱり意識して母校を愛するとういうことでしょうか。充実した高校時代の三年間を見つめた時に自分にとって貴重なものだった、そういう風に思ってもらいたいなと思います。

―起業を考えている人へメッセージをお願いします

今の仕事に実直に取り組んでいく中から将来の起業につながる方向性が見えてくるかもわからない。やってみたいことを地道にやっていると、時代だとか自分の家庭環境を含めていろんなタイミングっていうのがあると思っんです。それをくずしてまで起業することに先走ると思ってしまうに歯車が合わなくなってしまうのではないかなと思います。だから、自然体でいるのがいいんじゃないかな。

私の場合は、吸収合併される時に

起業するか、どこかに勤めるか、あ

るいはそのまま居残るか、選択にすぐ迷ったんです。起業する意欲があった訳じゃないから準備も何もしてなくて、本当に自分のできる範囲の狭いところからひとりで起業して、そうしたらありがたいことに前の会社の人がぼつりぼつりと仲間に加わってくれて、徐々に会社らしい体裁を整えて、現在に至りました。

―起業する際に新聞ではなく広告でやっていることと思われた理由、広告の魅力は何でしょうか

大学で広告をやったのがきっかけ

ですが、その中で

広告は経済的な意味での源泉で、新聞を発行する上で非常に大事な役割を持っていると感じたのがありますね。また、広告というのはそのお客さんの要望をどれだけ最大限引き出して表現できるのかというところに面白さがあるって、そうやって自分で作った広告が喜ばれると嬉しいです

